

科目名	自分未来ゼミ（C-5組）				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	全学共通科目	開講学期	2026年度春学期		
ナンバリング		学年	1年	単位	2単位
副題					
科目情報補足					
事前に履修することが望ましい科目					
この科目を通じて身につける能力要素					
全学共通の能力要素	<2025年度以降入学者>倫理的推論【○】、社会参加【○】、チームワーク【◎】、生涯学習の基盤となる知識・技能【○】				
学部固有の能力要素					
能力要素と授業内容の関係	倫理的推論【○】ロールモデルとなる社会人や先輩学生の話を通じて「よく生きる」とはどういうことかについて考える機会を設ける。 社会参加【○】企業社会の現実について知る機会があり、社会にどのように参加するか、社会をどう変えるかという視点を持つことができる。 チームワーク【◎】コミュニケーションの理論を学ぶとともに、毎回、グループワークを実践することによりチームワークについて学ぶ機会がある。 生涯学習の基盤となる知識・技能【○】なぜ、学ぶことが大切なのか、そのためにどのような大学生活を送るか、考える機会を設ける				
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html （2024年度以前入学者のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します）				
科目概要					
この科目は、履修者の学生生活、卒業後の生活、さらには未来の起点となる科目である。					
人生の選択肢の多様性を認識し、将来の可能性を広げる場とする。					
百年に一度の変化が毎年起こる、変化の大きい時代を私たちは生きている。一生働き続け、学び続ける時代、グローバルとローカルがつながる時代、デジタルをアナログにまとう時代、安全・安心が前提ではない時代、進学・就職・結婚・出産・育児・介護などのライフイベントのあり方が変化し続ける時代に、どのように生きるか。履修生同士で真剣に考え、議論する場とする。					
主役は学生であり、教員はファシリテーターに徹する。講義では毎回、受講生によるディスカッションを行う。大学とは何か、大学生活で何を実現するか、自分自身が何者か、企業と社会がどのように変化しているかなどについて、議論する。また、インタビュー、ディスカッション、プレゼンテーションなど、大学生活で必要となるコミュニケーションスキルを身につける。					
各学部でのゼミとは異なり、専門性を高めるため、研究成果を出すためのものではない。大学生活入門、ホームルーム、コミュニティとしての機能を重視する。 履修生の多様性を尊重しつつ、その未来の可能性を広げる場とする。					
この科目の学修目標					
・キャリア形成に関する基礎知識を身につける。 ・現代社会、企業社会についての基礎知識を身につける。 ・建学の精神を学び、自身に置き換えて考える。 ・大学生活の目標設定、計画立案をするスキルを身につける。 ・インタビューをするスキルを身につける。 ・ディスカッションをするスキルを身につける。 ・プレゼンテーションのスキルを身につける。					
授業の特徴（指定科目のみ掲載）					
標準的な講義は次のような流れとなる。 1.教員による前回の振り返り、今回の概要説明。 2.動画の視聴。 3.グループワーク、ディスカッション。 4.全体での発表。 5.まとめ、課題の指示。 という流れとなる。					
動画は教室で全員で試聴する。座学の講義はこちらを用いて行う。 グループワークは1チーム5名程度で、定期的にメンバーを入れ替えて行う。					
主役は学生であり、教員はファシリテーターに徹する。					

履修上の注意					
・ 学生が主役の講義なので積極的に発言をすること。 ・ 決められたグループに分かれて座ること。					
実務経験を活かす授業		実務経験内容等			
PC必携	○	使用するソフトウェア等			
データを活用する授業					
データ分析を行う		外部機関（企業等） のデータ活用する		その他	
アクティブ・ラーニングの要素					
グループワーク	○	プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）	○	ディスカッション・ディベート	○
反転授業		その他	・ ディスカッションを行う。 ・ プレゼンテーションを行う。		
授業計画					
授業回	各回の概要		各回の事前事後学修		事前事後 学修時間
第1回	大学とは何か？ 科目の説明／教員自己紹介／大学とは何か？／学生自己紹介／グループワーク（大学で学ぶ意義とは）／発表／まとめ		■事前 ・ 自己紹介の練習をしておくこと ・ 大学、学部、学科を選んだ理由を考えてくること ■事後 ・ 講義の振り返りを行うこと		3.5時間
第2回	大学生生活の過ごし方 先輩の事例研究 大学生生活のすごしかた／先輩の大学生活での取り組みレポート／グループワーク（先輩の過ごし方の感想の共有）／発表／グループワーク（大学生生活の過ごし方について）／発表／まとめ		■事前 どんな大学生生活をおくりたいか考えておく。 ■事後 座学で学んだことの振り返りを行う。		3.5
第3回	大学について知る 千葉商科大学について知る／建学の精神／グループワーク（建学の精神を自分たちの学生生活に置き換えるとどうなるか）／発表／まとめ		■事前 大学のHPで建学の精神などを確認しておく。 ■事後 座学で学んだことの振り返りを行う。		3.5時間
第4回	コミュニケーションスキル① コミュニケーションとは何か／インタビューの手法／グループワーク（相手のことを知る 学生生活インタビュー）／感想の共有／まとめ		■事前 自身のコミュニケーションに関する、課題を考えておく。 ■事後 座学で学んだことの振り返りを行う。		3.5
第5回	ゲストスピーカー講演① ゲストスピーカーの講演（動画）／グループワーク（感想の共有）／まとめ		■事前 ゲストスピーカーについて、業界・企業・職種について調べておく。 ■事後 感想をまとめる。		3.5時間
第6回	コミュニケーションスキル② グループワークの方法（動画）／グループワーク／発表／まとめ		■事前 グループワークに臨む際に自身が課題に感じていることをまとめておく。 ■事後 講義で学んだことの振り返りを行う。		3.5時間
第7回	自分を知る 自己分析の手法（動画）／個人ワーク（ワークシート記入）／グループワーク（ワークシートの共有）／発表／まとめ		■事前 ・ 自分の強み、弱みについて考えておく。 ・ これまでの人生の歩みを振り返っておく。		3.5時間

		■事後 ワークの振り返りを行う	
第8回	働くとはどういうことか 働くとはどういうことか（動画）／グループワーク（感想の共有）／発表 ／まとめ	■事前 自分が興味のある社会問題、業界・企業について調べておく。 ■事後 講義で学んだことの振り返りを行う。	3.5時間
第9回	ゲストスピーカー講演② ゲストスピーカーの講演（動画）／グループワーク（感想の共有）／まとめ	■事前 ゲストスピーカーについて、業界・企業・職種について調べておく。 ■事後 感想文をまとめる。	3.5時間
第10回	コミュニケーションスキル③ プレゼンテーションの方法②（動画）／グループワーク／発表／まとめ	■事前 プレゼンテーションについて、自分の課題を考えておく。 ■事後 振り返りを行う。	3.5時間
第11回	大学生生活の目標設定 キャリアプランニングの方法、大学生生活の目標・計画づくりのために（動画）／個人ワーク（ワークシートの記入）／グループワーク（ワークシートの共有）／発表／まとめ	■事前 大学生生活で何を成し遂げたいかを考えておく。 ■事後 ワークシートを完成させておく。	3.5時間
第12回	大学生生活の目標・計画発表会 発表会にむけたガイダンス／グループ内での発表／全体での発表／まとめ	■事前 発表の準備をする。 ■事後 振り返りレポートを書く。	3.5時間
第13回	まとめ これからの大学生生活のために／グループワーク（講義の振り返り、今後の大学生生活に向けて）／発表／まとめ／授業評価アンケートの記入	■事前 講義で何を学んだか、どのように成長したか、発表の準備をしておく。 振り返りレポートを書く。 ■事後 講義の振り返りを行う。	3.5時間
成績評価の方法		講義内のグループワーク20%、授業内課題30%、期末レポート50%で総合的に評価する。 自主的な発言など講義への貢献度を加点点評価する。	
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法		teams、授業内のコメントなどの方法によりフィードバックを行う。	
テキスト・教科書		自分未来ゼミの資料集、ワークシートを講義内で配布する。	
参考文献		隠岐さや香（2011）『文系と理系はなぜ分かれたのか』星海社 常見陽平(2014)『最新版 就活難民にならないための大学生生活30のルール』主婦の友社 安藤至大（2015）『これだけは知っておきたい働き方の教科書』筑摩書房 児美川孝一郎（2016）『夢があふれる社会に希望はあるか』ベストセラーズ 海老原嗣生（2017）『クランボルツに学ぶ夢のあきらめ方』星海社	